ページ更新管理
L-TOOL PgUpdater (ver 1.1)
取扱説明書

Little Net　　http://l-tool.net/

- 2015 年 07 月 22 日版 -

【目次】

1. 概要
2. サーバーへの設置
3. 設定
4. ページ更新の設置例
5. 変換指定
6. 制限解除キー
7. 利用規定
8. 更新履歴

■1. 概要

このWEBツールは、既存のHTMLファイル等に変換指定を埋め込む事で、ホームページに簡単に簡易CMS機能を付加するphpスクリプトです。

php5以上、HTMLファイルの文字コードがUTF-8用のスクリプトです。

phpが使用できるWEBサーバーに設置することで、簡単に、TOPページ等にお知らせ欄などを設置できます。

尚、サーバーで使用できるphpのタイプ(モジュール版/CGI版)により、幾つかアップロード不要なファイルがあります。

モジュール版 phpの場合	●使用できるphpがモジュール版（拡張子 .php）の場合は、下記のCGI版用のphpはアップロード不要です。（さくらインターネットのスタンダード等） …/pgupdater.php …/pgupdater.cgi ---------- アップロード不要(CGI版用のphp) …/admin.php …/admin.cgi ---------- アップロード不要(CGI版用のphp) （上記赤字以外は全てアップロード）
CGI版 phpの場合	●使用できるphpがCGI版（拡張子 .cgi）の場合は、下記のモジュール版用のphpはアップロード不要です。 …/pgupdater.php ---------- アップロード不要(モジュール版用のphp) …/pgupdater.cgi …/admin.php ---------- アップロード不要(モジュール版用のphp) …/admin.cgi （上記赤字以外は全てアップロード） ※CGI版の場合、サーバーによっては上記pgupdater.cgi と 各admin.cgi の先頭行のphpパス（#!/usr/local/bin/php）が違う場合があります。この場合はこのパスをサーバーの環境に合わせて変更して下さい。

■2. サーバーへの設置

このWEBツールは、WEBサーバーがApacheでphpを利用できるサーバー向けに制作されています。
サーバーへの設置は以下を参照してください。

【1】解凍後、フォルダー内の内容をそのままサーバーの適当なフォルダー(又はトップ)にアップロードします。

例)　lt-pgupdaterXXXX/　　---->　　http://example.com/

(XXXXはバージョン番号)

CGI版phpを使用する場合、サーバーによっては、pgupdater.cgiと各admin.cgi
(admin.cgi, wbsys/base/admin.cgi, wbsys/pgupdater/admin.cgi)の先頭行のPHPパス
#!/usr/local/bin/phpが違う場合があります。この場合はこのパスをサーバーに合わせて変更して下さい。

【2】サーバー設置時の各フォルダー・ファイルの属性(＝パーミッション)は以下( )内の通りです。

```
.../  ------------------------ (0755) 設置フォルダー（設置はphp設置可能な場所なら自由に可能）
  ├ l-tool.html ------------- (0644) L-TOOLフリーソフト設置確認用のHTML
  ├ pgupdater.php(.cgi) ---- (0755) PgUpdaterメイン起動PHP
  ├ admin.php(.cgi) --------- (0755) 管理機能ジャンプ用起動PHP
  └ wbsys/ ------------------ (07xx) システムフォルダー【※１】
     ├ pgupdater/ ---------- (07xx) ページ更新管理機能用フォルダー【※１】
     │  ├ admin.php(.cgi)-- (0755) 管理機能起動PHP
     │  ├ xxx.php.cgi ------ (0644) 各種プログラムPHP
     │  ├ tmp-xxxx.html ---- (0644) テンプレート用HTML
     │  └ data/ ------------ (自動生成フォルダー)
     ├ base/ --------------- (07xx) 管理機能用フォルダー【※１】
     │  ├ admin.php(.cgi)-- (0755) 管理機能起動PHP
     │  ├ xxx.php.cgi ------ (0644) 各種プログラムPHP
     │  ├ tmp-xxxx.html ---- (0644) テンプレート用HTML
     │  └ data/ ------------ (自動生成フォルダー)
     ├ lib/ ---------------- (0755) 各種PHPプログラムフォルダー
     ├ css/ ---------------- (0755) システムが使用しているCSS
     ├ js/ ----------------- (0755) システムが使用しているJavascript
     └ extool/ ------------- (0755) 使用している他のフリーソフト

【補足】pgupdater.php(cgi), 各admin.php(cgi) 等の起動PHPは、サーバー推奨のファイル属性が (0755)
        ではなく (0700) 等の場合は、サーバー推奨に合わせて設置して下さい。
【※１】(07xx) は (0755) でエラーが出る場合は (0777) に設定して下さい。（phpの実行時ユーザーが
        apacheで実行されるサーバーの場合、0755ですと自動生成フォルダー等の生成でエラーが発生します）
```

※上記の設置で、ブラウザから以下のphpスクリプトが起動できます。

```
管理機能　→ http://.../admin.php　　（又はadmin.cgi）
```

■3. 設定

システムをサーバーに設置後は、管理機能を起動し、以下の設定を行って下さい。

【1】管理機能の起動

・ブラウザから、管理機能を開いて下さい。

例）http://・・・・・/admin.php　(admin.cgi)

・最初のみ「初期セットアップ」画面が表示されます。

「設置 URL1」「設置 URL2」「管理者名」「管理者メールアドレス」「ログインID」「パスワード」等を設定して下さい。

設定後はログイン画面が表示されます。上記で設定した「ログインID」「パスワード」でログインして下さい。

・ログイン後は「管理TOP」メニュー画面が表示されます。

■4. ページ更新の設置例

このWEBツールは、既存の(および新規に制作した)HTMLファイルに変換指定を挿入するだけで、その部分を、更新可能なホームページにする事ができます。実際の設置例は以下を参照して下さい。

また、以下の例を参考に、色々な更新ページを作成する事ができると思います。

【1】TOPページ等にお知らせ欄の設置

TOPページ等に「お知らせ欄」を設置する場合の例を説明します。

(HTMLは index.html とします)

(1)既に準備している index.html を pgu-index.html というファイル名でコピーします。

(2) pgu-index.html をエディタやメモ帳等で開き、HTMLのヘッダー部分に、「お知らせ欄」用にスタイルシートを記入します。例えば、以下のような感じです。スタイルシートは別途 css ファイルを作成しても構いません。自由です。

```
<html>
<head>
 :
<style type="text/css">
<!--
.information_area { padding:10px; border:1px solid #ccc; width:400px; }
.information_area dt { width:80px; float:left; padding:5px; }
.information_area dd { border-bottom: 1px #ccc dotted; padding:5px 5px 5px 80px; }
-->
</style>
 :
</head>
<body>
 :
```

スタイルシート例

(上記はスタイルシートの一例です。内容は自由に記述して下さい)

(3) pgu-index.html 内の「お知らせ欄」を表示したい位置に、 タグとPgUpdaterの変換指定を挿入します。例えば、以下の様な感じです。

```
<body>
 :
<div class="information_area">
##PGU_TAREA01##
</div>
 :
</body>
</html>
```

変換指定例

(上記はタグおよび変換指定の一例です。内容は自由に記述して下さい)

上記で修正した、pgu-index.html を PgUpdater を設置したフォルダーにアップロードしてください。

例) http://example.com/ の直下に PgUpdater を設置したなら、pgu-index.html も http://example.com/ の直下に設置して下さい。

(4) PgUpdater の管理機能から、アップロードした HTML を登録します。

PgUpdater の admin.php をブラウザから開いて、ログインして下さい。
「管理 TOP ＞ ページ情報の管理」をクリックし、「ページ情報一覧」画面で[新規登録]をクリックして下さい。
以下の画面が開きます。

ページタイトルに「TOP ページ」等と、任意の名前を指定します。
入力ファイルに、先ほどアップロードした pgu-index.html と指定します。
出力ファイルに、書き出したいファイル名 index.html と指定します。

次に、実際の「お知らせ」欄ですが、テキストエリア1に、以下の様に入力します。

```
<dl>

<dt>20xx/02/01</dt>
<dd>これはお知らせ欄の例です。・・・・・・・・</dd>

<dt>20xx/01/01</dt>
<dd>これはお知らせ欄の例です。・・・・・・・・</dd>

</dl>
```

（上記は HTML タグの一例です。内容は自由に記述して下さい）

上記、<dt>～</dt> が日付項目で、<dd>～</dd>が内容の項目です。
この、<dt>と<dd> の組み合わせを追加すれば、お知らせは自由に増やせます。

これで[登録]をクリックすると、情報が登録され、pgu-index.html ファイルの ##PGU_TAREA01## 部分がテキストエリア1で指定された内容に置き換わり、index.html が書き出されます。

ブラウザから http://example.com/index.html 等と入力して、index.html を確認して下さい。
「お知らせ欄」が追加されているはずです。

尚、「ページ情報一覧」画面の[設定]からは、使用しない項目を非表示にできます。

【2】任意のページに文章や画像、ダウンロードファイルの設置

任意のページに文章や画像、ダウンロードファイルといったコンテンツを設置する場合の例を説明します。
（HTML は page1.html とします）

(1)別途 pgu-page1.html というHTML ファイルを作成して準備します。

(2) pgu-page1.html をエディタやメモ帳等で開き、HTML のヘッダー部分に、コンテンツ用にスタイルシートを記入します。例えば、以下のような感じです。スタイルシートは別途 css ファイルを作成しても構いません。自由です。

```
<html>
<head>
 :
<style type="text/css">
<!--
.contents_area { margin:10px auto 50px 0px; }
.contents_area img { margin:10px; }
-->
</style>
 :
</head>
<body>
 :
```

スタイルシート例

（上記はスタイルシートの一例です。内容は自由に記述して下さい）

(3) pgu-page1.html 内のコンテンツを表示したい位置に、 タグと PgUpdater の変換指定を挿入します。
例えば、以下の様な感じです。

```
<body>
 :
<div class="contents_area">
##PGU_TAREA01##
</div>
 :
</body>
</html>
```

変換指定例

（上記はタグおよび変換指定の一例です。内容は自由に記述して下さい）

上記で修正した、pgu-page1.html を PgUpdater を設置したフォルダーにアップロードしてください。
例）http://example.com/ の直下に PgUpdater を設置したなら、pgu-page1.html も http://example.com/ の直下に設置して下さい。

(4) PgUpdater の管理機能から、アップロードした HTML を登録します。

PgUpdater の admin.php をブラウザから開いて、ログインして下さい。
pgu-index.html の場合と同じように、管理 TOP ＞ ページ情報の管理」をクリックし、「ページ情報一覧」画面で［新規登録］をクリックして、登録画面を開きます。

ページタイトルに「ページ1」等と、任意の名前を指定します。
入力ファイルに、先ほどアップロードした pgu-page1.html と指定します。
出力ファイルに、書き出したいファイル名 page1.html と指定します。

次に、実際の情報の登録ですが、テキストエリア1に、適当な文章を入力します。

```
適当な文章を入力して下さい・・・・・・・。
$IMG01_LEFT$

画像は上記のように指定して下さい・・・・・。
ダウンロード用に pdf や zip ファイルを登録する事もできます。
$FILE01$

<br clear="left">
```

（上記は HTML タグの一例です。内容は自由に記述して下さい）
（$IMG01_LEFT$ 等の変換指定は、画面の説明を参照して下さい）

次に、画像1に、適当な画像を指定します。自動縮小したい場合は、横幅、高さを、例えば 200, 200 等に指定して下さい。

次に、ファイル1に、適当なファイルを指定します。ダウンロード名も指定して下さい。

これで［登録］をクリックすると、情報が登録され、pgu-page1.html ファイルの ##PGU_TAREA01## 部分がテキストエリア1で指定された内容に置き換わり、page1.html が書き出されます。

ブラウザから http://example.com/page1.html 等と入力して、page1.html を確認して下さい。
コンテンツが追加されているはずです。

尚、「ページ情報一覧」画面の［設定］からは、使用しない項目を非表示にできます。

■5. 変換指定

PgUpdater の入力ファイル内(pgu-index.html 等)で使用できる、各種の変換指定を説明します。

【1】変換指定の概要

大きく分けて、変換指定には、以下の種類があります。

(1) 置換変換指定

```
##PGU_xxxx##
```

##PGU_xxxx## を特定の項目の内容に置換します。

例) ##PGU_TAREA01## --- PgUpdater の登録項目「テキストエリア1」の内容に置換します。
例) ##PGU_IMG01## ----- PgUpdater の登録項目「画像1」の画像タグに置換します。

(2) IF 変換指定

```
<!--##IF_PGU_xxxx##--> ～ <!--##/IF_PGU_xxxx##-->
```

特定の条件が真の場合のみ、<!--##IF_xxxx##--> ～ <!--##/IF_xxxx##--> の間が有効になります。
<!--##IF_NOT_PGU_xxxx##--> ～ <!--##/IF_NOT_PGU_xxxx##--> は条件が偽の場合に有効になる指定です。

例) <!--##IF_PGU_IMG01##--> --- PgUpdater の登録項目「画像1」に画像が登録されてたら真。
例) <!--##IF_PGU_FILE01##--> --- PgUpdater の登録項目「ファイル1」にファイルが登録されてたら真。

(3) 外部ファイル挿入指定

```
<!--##PGU_INCLUDE##-->file<!--##PGU_INCLUDE##-->
```

<!--##PGU_INCLUDE##-->file<!--##PGU_INCLUDE##--> で指定された位置に、外部ファイル file を読込み、挿入します。

例) <!--##PGU_INCLUDE##-->header.html<!--##PGU_INCLUDE##--> --- この位置に header.html を挿入

【2】入力ファイルで使用可能な変換指定

入力ファイル内では以下の変換指定が使用できます。

※ xx は項目の番号で、テキスト項目、画像項目の場合は 01～10、ファイル項目の場合は 01～05

##PGU_TITLE##	--- タイトル項目の内容
##PGU_TAREAxx##	--- テキストエリア項目の内容
##PGU_IMGxx##	--- 画像項目の画像タグ（<img src=....>）
##PGU_IMGxx_TOP##	--- 画像項目の画像タグ（<img src=.... align="top">）
##PGU_IMGxx_MIDDLE##	--- 画像項目の画像タグ（<img src=.... align="middle">）
##PGU_IMGxx_BOTTOM##	--- 画像項目の画像タグ（<img src=.... align="bottom">）
##PGU_IMGxx_LEFT##	--- 画像項目の画像タグ（<img src=.... align="left">）
##PGU_IMGxx_RIGHT##	--- 画像項目の画像タグ（<img src=.... align="right">）
##PGU_IMGxx_PATH##	--- 画像項目の画像ファイルパス
##PGU_IMGxx_WIDTH##	--- 画像項目の画像ファイルの幅
##PGU_IMGxx_HEIGHT##	--- 画像項目の画像ファイルの高さ
##PGU_IMGxx_EXT##	--- 画像項目の画像ファイル拡張子
##PGU_IMGxx_TITLE##	--- 画像項目のタイトル
##PGU_FILExx##	--- ファイル項目のダウンロード用タグ（タイトル）
##PGU_FILExx_EXT##	--- ファイル項目のファイル拡張子
##PGU_FILExx_DOWNLOAD_URL##	--- ファイル項目のダウンロードリンク用 URL
##PGU_FILExx_DOWNLOAD_TITLE##	--- ファイル項目のダウンロードリンク用タイトル

<!--##IF_PGU_TAREAxx##-->	--- このテキストエリア項目が設定されている場合に真
<!--##IF_PGU_IMGxx##-->	--- この画像項目が設定されている場合に真
<!--##IF_PGU_FILExx##-->	--- このファイル項目が設定されている場合に真
<!--##IF_PGU_FILExx_PDF##-->	--- このファイル項目のファイル拡張子が PDF の場合に真
<!--##IF_PGU_IMG_EXIST##-->	--- 画像項目が一つでも設定されている場合に真
<!--##IF_PGU_FILE_EXIST##-->	--- ファイル項目が一つでも設定されている場合に真

<!--##PGU_INCLUDE##-->	--- この位置に指定ファイルを挿入

■6. 制限解除キー

このソフトウエアは「制限解除キー」を購入して管理機能から設定する事で、以下の制限が解除されます。

【1】解除される制限

・画面下部に表示される L-TOOL へのリンク広告の削除。キーの設定により自動で削除されます。
・最大情報登録数 5件 の制限が解除されます。

【2】キーの入手方法

・L-TOOL のホームページ (http://l-tool.net/) の「制限解除キー」より申し込みください。

【3】キーの設定方法

・「管理機能 ＞ システムの各種設定」 内の 「制限解除キー」 項目に、入手したキーを設定して下さい。

■6. 利用既定

このソフトウエアを利用する前に「利用規定」を確認し、内容に同意したうえでこのソフトウェアを利用してください。

【1】利用規定

(1)このソフトウェアは商用ウェブサイト・非商用ウェブサイトを問わず、自由に設置して利用できます。
(2)このソフトウェアを利用する事で利益が得られる場合は、必ず制限解除キーを取得して下さい。
【制限解除キーを取得する必要のある場合】
・このソフトウェアを有償でウェブサイトへ設置する場合。或いは、このソフトウェアを設置する事自体で利益が得られる場合。
・有償で制作・設置するウェブサイトへ、このソフトウェアを設置する場合。
・過去に有償で制作・設置したウェブサイトや、利益関係のある相手のウェブサイトに、このソフトウェアを設置する場合。
・このソフトウェアを設置したウェブサイトを貸し出して利益を得る場合(有償レンタル。無償レンタルだが広告収入が有る場合)
・その他このソフトウェアを利用する事により直接利益が生じる場合。
(3)画面内に L-TOOL (l-tool.net) へのリンク広告が表示されますが、これを削除したり見えなくしたりしないで下さい。
L-TOOL へのリンク広告を非表示にしたい場合は、制限解除キーを購入するか、有料設置をご依頼下さい。
(4)このソフトウェアの不具合等により利用者等に損害が発生した場合であっても、損害に対する賠償責任は当方(制作者)には無いものとします。この点に同意したうえでこのソフトウェアを利用して下さい。
制限解除キーを取得した場合や、有料設置した場合でも同様です。
(5)ソフトウエアに不具合等があった場合でも、当方は個別の対応はできません。ご了承ください。
制限解除キーを取得した場合や、有料設置した場合でも同様です。
(6)このソフトウエアの著作権は当方(制作者)にありますが、パッケージ内に当方制作以外のフリーソフト等が含まれている場合、そのフリーソフトの著作権・利用規約のみは各フリーソフトの規定となります。

【2】不具合に関して

このソフトウェアに不具合があった場合、個別の対応はできませんが、修正やバージョンアップの為、ホームページのお問い合わせフォームより、不具合のご連絡を頂ければ幸いです。

■7. 更新履歴

2015 年 0 7月１０日　 [Ver1.1] PgUpdater をフリーソフトとして提供開始。